



奈良県経済の概況

緩やかに持ち直している

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比4か月ぶりの減少

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比3か月連続の増加

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比6か月ぶりの減少

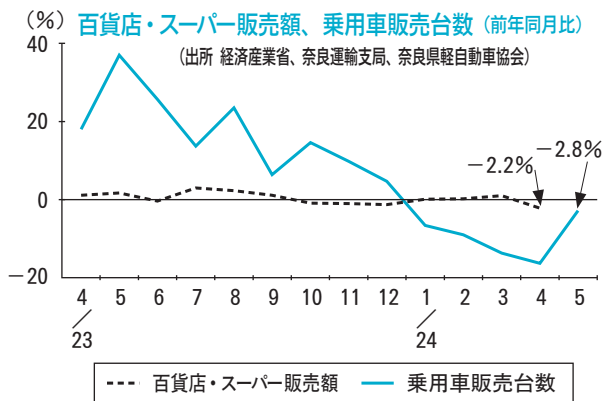
雇用情勢 有効求人倍率は前月比0.03ポイント低下の1.12倍

企業倒産 倒産件数は14件
負債総額は6億40百万円

生産活動 鉱工業生産指数は前月比4か月ぶりの上昇

1 個人消費

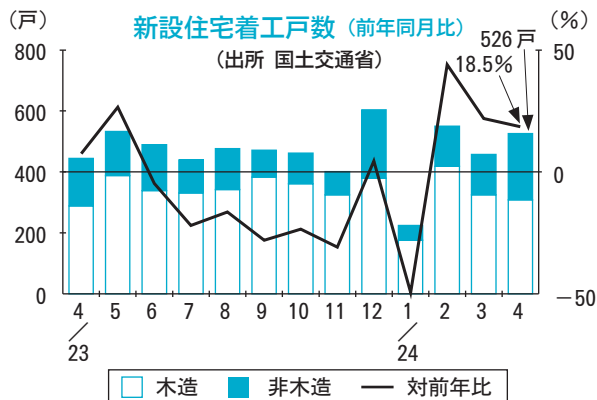
百貨店・スーパー販売額は前年同月比4か月ぶりの減少



- 4月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比2.2%減の163億58百万円となり、4か月ぶりの減少。
- 5月の乗用車販売台数は前年同月比2.8%減の2,874台と、5か月連続の減少。普通乗用車は同8.3%減、小型乗用車は同2.1%増。軽乗用車は同1.7%増となった。

2 住宅着工

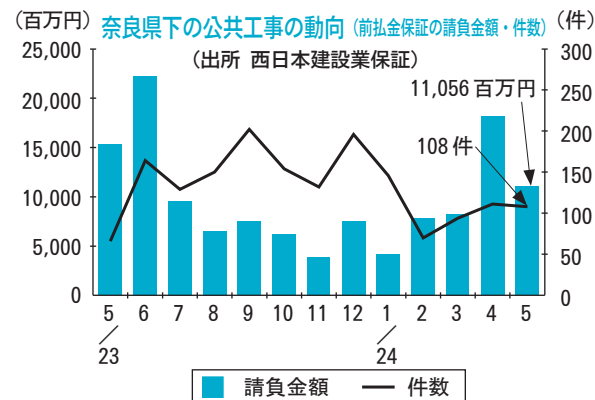
新設住宅着工戸数は前年同月比3か月連続の増加



- 4月の新設住宅着工戸数は前年同月比18.5%増の526戸と、3か月連続の増加。
- 利用関係別にみると、持家は同11.2%減の166戸と3か月ぶりの減少、貸家は同152.4%増の212戸と3か月連続の増加、分譲住宅は同9.6%増の148戸と3か月連続の増加となった。

3 公共投資 (西日本建設業保証の保証取り扱い)

公共工事請負金額は前年同月比6か月ぶりの減少

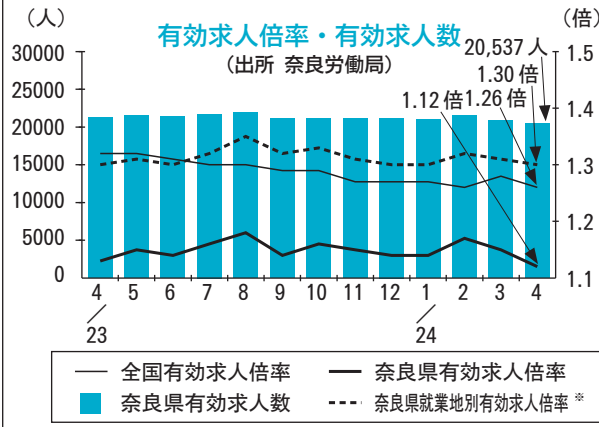


- 5月の公共工事請負金額の動向をみると、件数は前年同月比63.6%増の108件となり、6か月連続の増加。金額は同27.7%減の110億56百万円と、6か月ぶりの減少。
- 発注者別にみると、国は同64.4%減、県は同258.0%増、市町村は同45.8%減。

4

雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.03 ポイント低下の 1.12 倍



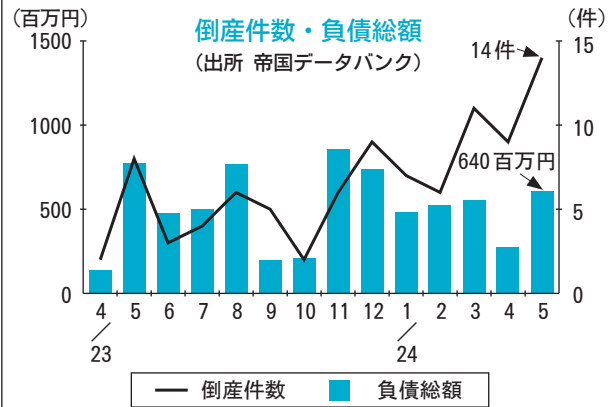
*実際の就業地が奈良県内の求人の倍率

- 4月の有効求人倍率（季調値）は前月比 0.03 ポイント低下の 1.12 倍となり 2 か月連続の低下。前年同月比は 0.01 ポイント低下。
- 新規求人倍率（季調値）は、前月比 0.08 ポイント低下の 1.92 倍となり 2 か月ぶりの低下。前年同月比は 0.17 ポイント上昇。

5

企業倒産

倒産件数は 14 件、負債総額は 6 億 40 百万円

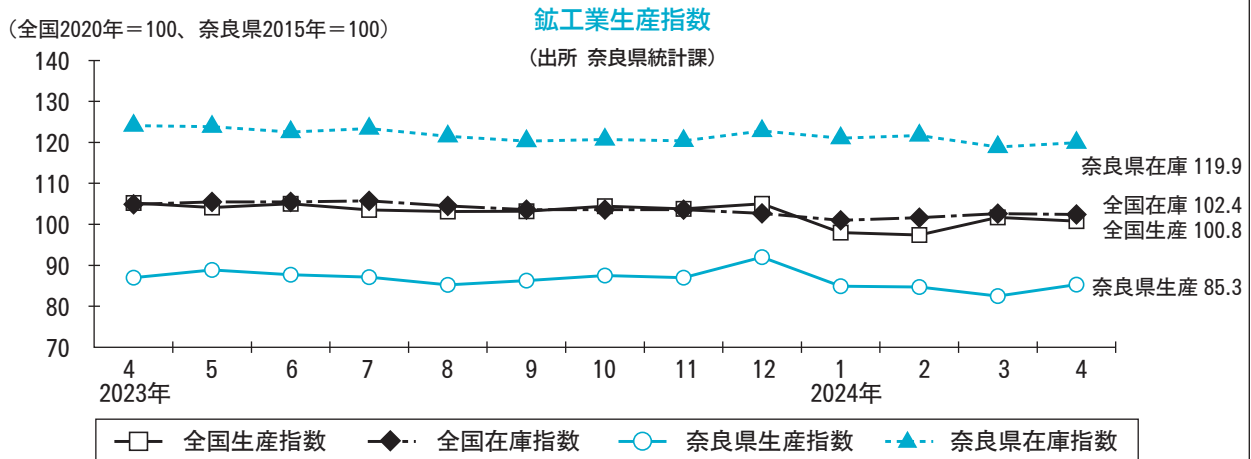


- 5月の倒産状況を見ると、件数は前年同月比 75.0% 増の 14 件。負債総額は同 17.4% 減の 6 億 40 百万円と 2 か月ぶりの減少。
- 業種別では、製造業が 6 件、小売業、サービス業、その他が各 2 件、卸売業、運輸・通信業が各 1 件。倒産形態では、破産が 13 件、特別清算が 1 件であった。

6

生産活動

鉱工業生産指数は前月比 4 か月ぶりの上昇



- 4月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比 3.4% 上昇の 85.3 となり 4 か月ぶりの上昇。原指数は前年同月比 1.0% 低下の 86.6 となり 2 か月連続の低下。在庫指数は前月比 0.8% 上昇の 119.9 となり 2 か月ぶりの上昇。
- 業種別生産指数の動きは、プラスチック製品工業、生産用機械工業、化学工業等の 9 業種が前月比上昇となる一方、電気機械工業、食料品・たばこ工業、その他製品工業等の 8 業種が同低下。